

IV 農業災害の状況

平成19年は、二つの台風、9月の前線等の影響による被害が発生

19年は、二つの台風、9月15日からの前線や台風第11号から変わった低気圧の影響による被害が発生した。特に台風第9号では、山形県の果樹（西洋なし、リンゴ等）を中心に大きな被害が発生した。また、9月15日からの前線等による大雨では岩手県、秋田県の水稲を中心に大きな被害が発生した。

このため、東北農政局では、9月7日に「東北農政局台風9号災害対策本部」を設置した。さらに同月18日には本対策本部を拡大し、「東北農政局台風9号及び豪雨災害対策本部」を設置し、20日、21日には被害の大きかった秋田県内の現地調査を行った。

農作物等の被害金額は69億円

19年の農作物等被害金額約69億円のうち台風によるものが約38億円、9月15日からの前線等に伴う大雨によるものが約24億円とそれぞれ全体の55%、35%を占めている。

作目別にみると、果樹（樹体を含む）の被害が最も多く農作物被害の54%を占めている。次いで水稲の24%となっている（表IV-1）。

表IV-1

気象災害による主な農作物等被害（平成19年・東北）

（単位：億円）

区分	農作物等被害													
	計	営農施設等	農作物等	水稲	麦類	雑穀・豆類	野菜	果樹	工芸作物	飼料作物	花き	その他	家畜等	樹体
被害金額合計	69.1	7.9	61.1	14.9	—	2.9	5.8	27.2	0.9	1.0	1.3	0.5	0.7	6.0
台風	37.8	1.5	36.3	1.9	—	1.5	2.6	23.1	0.0	0.6	0.6	—	0.0	5.9
大雨	23.9	4.6	19.4	13.0	—	1.3	2.4	0.7	0.0	0.4	0.6	0.5	0.4	0.0

資料：東北農政局調べ（管内各県農業被害報告による）。

注：営農施設等被害とは、耕種、園芸、畜産等関係施設被害である。

Ⅳ 農業災害の状況

農地・農業用施設等の被害金額は97億円

平成19年に発生した災害による農地・農業用施設等の被害額は約97億円であった（表Ⅳ－2）。その内、9月の台風9号により約22億円、秋田を中心とした9月15日からの前線等による大雨により約53億円の被害がもたらされた（表Ⅳ－3）。

表Ⅳ－2

豪雨等による農地・農業用施設等の被害額（平成19年）

（単位：億円）

区 分		被 害 額	割 合	区 分		被 害 額	割 合
東 北	青森県	7.1	7.3	全 国	北海道	1.4	0.3
	岩手県	18.9	19.4		東北	97.3	18.3
	宮城県	9.0	9.2		関東	39.4	7.4
	秋田県	46.9	48.2		北陸	110.4	20.8
	山形県	2.2	2.3		東海	3.7	0.7
	福島県	13.2	13.6		近畿	26.6	5.0
	計	97.3	100.0		中四国	36.6	6.9
			九州		210.7	39.7	
			沖縄		5.1	1.0	
			計		531.1	100.0	

資料：東北農政局防災課調べ。

注：1) 被害額は農地、農業用施設や海岸保全施設、地すべり防止施設、直轄災害に対するものである。

注：2) 四捨五入のため表の内容と計が一致しない場合がある。

表Ⅳ－3

農地・農業用施設等における主な災害の概要（平成19年・東北）

（単位：箇所、億円）

区 分	災害の発生日	災 害 件 数	被 害 額		
			うち農地	うち農業用施設	
台風9号	9月	1,785	22.4	3.8	18.6
9月15日からの前線等による大雨	9月	1,539	53.3	19.3	34.0

資料：東北農政局防災課調べ。